

平成21年5月27日

各 位

会社名 : シーアイ化成株式会社

代表者名 : 代表取締役 北村 博

(コード番号: 7909 東証第1部)

問合せ先 : 広報・IR室長 矢野 健藏

(TEL: 03-3535-7471)

(訂正)「平成21年3月期 決算短信」の一部訂正について

平成21年5月15日に発表いたしました「平成21年3月期 決算短信」について一部訂正がありましたので、お知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

訂正箇所①:

3ページ 1. 経営成績 (1)経営成績に関する分析

【訂正前】

需要の急激な減少により一部の生産設備が過剰となったこと等により固定資産を減損処理(約8億円)したこと、昨秋以降の急激な株価の下落により所有上場株式の評価損(約5億円)を計上したこと、及び主要取引先の経営破綻に伴う貸倒引当金(約3億円)の計上を主因として約20億円の特別損失を計上したこと、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、約9億円を取り崩したこと等により、当期純損益は34億2百万円の損失(前期比41億3千6百万円の減益)となりました。

【訂正後】

需要の急激な減少により一部の生産設備が過剰となったこと等により固定資産を減損処理(約7億円)したこと、昨秋以降の急激な株価の下落により所有上場株式の評価損(約5億円)を計上したこと、及び主要取引先の経営破綻に伴う貸倒引当金(約3億円)の計上を主因として約20億円の特別損失を計上したこと、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、約9億円を取り崩したこと等により、当期純損益は34億2百万円の損失(前期比41億3千6百万円の減益)となりました。

訂正箇所②:

14ページ 4. 連結財務諸表 (2) 連結損益計算書

【訂正前】

		(単位:百万円)	
		前連結会計年度	当連結会計年度
		(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

～省略～

特別損失

固定資産除却損	※5	90	※5	128
固定資産売却損	※6	1	※6	3
減損損失	※7	474	※7	<u>810</u>
投資有価証券評価損		92		549
関係会社株式売却損		—		13
貸倒引当金繰入額		22		294
その他		0		<u>193</u>
特別損失合計		681		1,990

～省略～

【訂正後】

		(単位:百万円)	
		前連結会計年度	当連結会計年度
		(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

～省略～

特別損失

固定資産除却損	※5	90	※5	128
固定資産売却損	※6	1	※6	3
減損損失	※7	474	※7	<u>683</u>
投資有価証券評価損		92		549
関係会社株式売却損		—		13
貸倒引当金繰入額		22		294
その他		0		<u>320</u>
特別損失合計		681		1,990

～省略～

訂正箇所③:
17ページ 4. 連結財務諸表 (4)連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

			(単位:百万円)	
	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失(△)	1,078		△ 2,704	
減価償却費	3,289		3,187	
減損損失	474		<u>810</u>	
のれん償却額	241		171	
	～省略～			
その他	△ 1,289		<u>△ 894</u>	
小計	6,463		824	
	～省略～			

【訂正後】

			(単位:百万円)	
	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失(△)	1,078		△ 2,704	
減価償却費	3,289		3,187	
減損損失	474		<u>683</u>	
のれん償却額	241		171	
	～省略～			
その他	△ 1,289		<u>△ 767</u>	
小計	6,463		824	
	～省略～			

訂正箇所④:

33、34ページ 4. 連結財務諸表 注記事項（連結損益計算書関係）※7 減損損失

【訂正前】

用途	場所	種類	金額
～省略～			
自家発電設備	滋賀県湖南市	建物及び構築物他	310百万円
～省略～			
自動車用防音材製造設備	埼玉県深谷市	機械装置及び運搬具他	118百万円
～省略～			
計			810百万円

～省略～

自家発電設備は燃料高騰による使用停止により、帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失(310百万円)として特別損失に計上いたしました。その内訳は、建物及び構築物63百万円、機械装置及び運搬具1百万円、未経過リース料期末残高相当額150百万円等であります。

～省略～

自動車用防音材製造設備は事業採算の悪化に伴い、短期的な収益改善が見込まれないことから帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失(118百万円)として特別損失に計上いたしました。

～省略～

【訂正後】

用途	場所	種類	金額
～省略～			
自家発電設備	滋賀県湖南市	建物及び構築物他	213百万円
～省略～			
自動車用防音材製造設備	埼玉県深谷市	機械装置及び運搬具他	88百万円
～省略～			
計			683百万円

～省略～

自家発電設備は燃料高騰による使用停止により、帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失(213百万円)として特別損失に計上いたしました。その内訳は、建物及び構築物63百万円、機械装置及び運搬具1百万円、未経過リース料期末残高相当額149百万円等であります。

～省略～

自動車用防音材製造設備は事業採算の悪化に伴い、短期的な収益改善が見込まれないことから帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失(88百万円)として特別損失に計上いたしました。

～省略～

訂正箇所⑤:

39ページ 4. 連結財務諸表 (セグメント情報)

a. 事業の種類別セグメント情報 当連結会計年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

【訂正前】

	建装用資材 (百万円)	農業・土木用 資材 (百万円)	包装用 フィルム (百万円)	工業用品・ 開発・他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
			～省略～				
減損損失	—	—	—	810	810	—	810
			～省略～				

【訂正後】

	建装用資材 (百万円)	農業・土木用 資材 (百万円)	包装用 フィルム (百万円)	工業用品・ 開発・他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
			～省略～				
減損損失	—	—	—	683	683	—	683
			～省略～				

【訂正前】

	(単位:百万円)	
	前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

～省略～

特別損失

固定資産除却損	51	67
固定資産売却損	0	3
減損損失	472	691
投資有価証券評価損	88	545
関係会社株式評価損	20	—
ゴルフ会員権評価損	0	27
投資損失引当金繰入額	110	—
貸倒引当金繰入額	35	—
その他	—	78
特別損失合計	779	1,411

～省略～

【訂正後】

	(単位:百万円)	
	前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

～省略～

特別損失

固定資産除却損	51	67
固定資産売却損	0	3
減損損失	472	594
投資有価証券評価損	88	545
関係会社株式評価損	20	—
ゴルフ会員権評価損	0	27
投資損失引当金繰入額	110	—
貸倒引当金繰入額	35	—
その他	—	175
特別損失合計	779	1,411

～省略～

以上